

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1039.1	文化財保存経費	01	一般会計		
		10	教育費		
基本施策	36	歴史や文化を守り未来へ引き継ぐ	05	社会教育費	
			02	文化財保護費	
担当部課名	教育委員会島ヶ原分室		101	文化財保存経費	
作成者氏名	川口正仁	連絡先	59-2058	細々目	文化財保存経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	市指定無形民俗文化財「修正会」の保存と伝承している6頭屋の保存会	貴重な文化財を適切に保存・伝承することにより、守る人観る人が地域の歴史や文化を学び市民一人ひとりが、次世代に誇りをもって引き継ぐ自覚が生まれる。					
本年度事業内容	○正月堂修正会: 毎年2月12日にこの伝統行事が行われ、約1250年続けられている。						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市文化財保護条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.01	0.01	0.01
人件費合計(A)	72	72	72
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	210	189	189
委託料			
補助金	210	189	189
その他			
合計(A+B)	282	261	189
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	282	261	189
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
正月堂修正会参加頭屋数	頭屋	6	6	6			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
頭屋参加率 (参加頭屋数/ 頭屋総数)	頭屋総数を分母とし、現在の参加している頭屋数を分子とした。	%	100 目標 ( 100 )	100	100
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

旧村で指定を受け当該無形文化財は伊賀市に引き継がれたが、伊賀市がおこなっている現在の民族芸能伝承のための各保存会への助成に関し、内容等精査する必要がある。
---

評価	必要性	4	修正会は天平勝宝3年(751年)より農産豊穡、除災招福祈禱の行事として約1250年余り続いている。現在地区にある6頭屋の努力によりしっかりと守られている。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		